

1 ビジョン策定に向けた主な議論の内容

- ・ビジョンの基本的な考え方
- ・将来イメージ
- ・基盤整備の方向性や交通結節点
- ・景観

策定委員会

- ・各部会の検討内容の報告、総括
- ・ビジョンの基本的な考え方に関する議論

各部会のご意見を踏まえ、ビジョン策定の基本的な考え方として、「受入れ範囲を広げること（広がりのある浅草）」「東西回遊の拠点づくり」「居住地としてのブランド価値の向上」について議論した。

まちづくり部会

- ・将来イメージに関する意見交換

まちの将来像について「観光」「住環境」「防災」「水辺」「交通」の視点に基づき意見交換をし、ビジョンのコンセプトの決定に向けて段階的に将来イメージにつながるキーワードを整理した。

- ・景観に関する議論

景観計画で定める景観軸や景観形成特別地区に加え、さらに重点的に景観の取組みを進めていくエリアや通り、地域主体の取組み等について議論した。

基盤整備部会

- ・基盤整備の方向性や交通結節点に関する議論

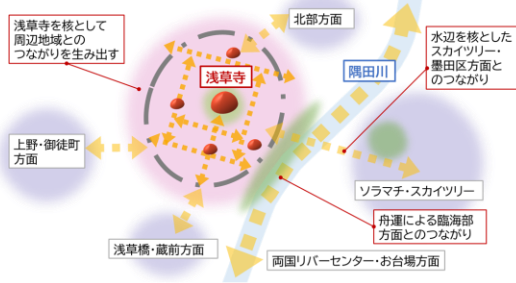
対象地区内に、東西の回遊拠点検討エリアを設け、各エリアの検討項目を整理した。重点的に検討するエリアとして、交通結節点である浅草駅周辺（東武鉄道・東京メトロ・都営交通周辺）を「東の回遊拠点検討エリア」に位置づけ、エリア内に期待される4つの機能（回遊・滞在、水辺空間、交通結節、防災・避難）をまとめた。また周辺地域との回遊性向上に関する取組み等を議論した。

令和5年度の検討の振り返り

2 検討状況（まちづくり部会）

将来イメージ

- これまでの内容を踏まえて、まちを構成する「資源・場所」「通り・軸」「環境」に関連する要素に整理



- 資源・場所**
- 世界に誇る歴史・文化を感じる浅草寺一帯
 - 観光・商売・エンタメが強く結びついた中心部
 - 食・芸能・花街の文化をもつ店舗や界隈
 - 落ち着きある佇まいを見せる建物
 - 駅の乗換え利便性向上
 - 利便性が高くまちの拠点となる、駅とまちが一体のまちづくり
 - 広場のような雷門前の滞留空間づくり
 - 駅周辺の滞留空間の確保

- 通り・軸**
- 伝法通り等の個性を感じるまちなみ
 - 上野、スカイツリー等の周辺とのつながり
 - 商店街の連続性を確保する低層部のルールづくり
 - 憩い・安らぎを感じる水辺空間づくり
 - 水上交通や船着場の利活用の活性化
 - まちから隅田川へのつながりの創出
 - サインの整理等による円滑な乗換え動線づくり
 - 雷門通りの広場機能の向上

- 取り巻く環境（まちの変化）**
- 東西南北の各方面との連続性や一体感を意識した新たな個性の創出
 - デジタル化等の進歩やコロナ禍を経た新たな変化等に対するまちの機能の充実
 - 首都直下型地震や激甚化・頻発化する水害等のリスクへの対応

- 地域の課題**
- 観光客の受入れ環境整備
 - まちのルールの作成と新規出店者等への周知
 - 来訪者へのまちのルールの周知・啓発
 - 住環境と賑わいを共存させる
 - 住み良い住環境や良好な景観を守る建物等のルールづくり
 - 適切な建替えにより防災性向上を図る
 - 住民・来街者のための災害時の避難所・備蓄等の確保
 - 地域にあった移動手段の導入による回遊促進

- まちに関わる人々の想い**
- 活気を感じる三社祭や様々な行事
 - 新旧住民のつながりを生み出す
 - 住民・働く人の居場所を増やす
 - 防災時も助け合えるコミュニティ構築
 - 子ども・若者が暮らし続けたいと思う環境を守る
 - 若い世代への地域の文化継承や担い手育成が必要
 - 誰もがワクワクする雰囲気高める

※上記内容は、まちづくり部会やまちづくり推進協議会におけるワークショップでのご意見等にもとづく

- 関係者の想いをもとにキーワードを抽出し、点・線・面の視点から浅草地区の魅力向上のコンセプトづくりに向けた3つの方向性を再整理

	→点 資源・場所	→線 通り・軸	→面 環境
資源の魅力を活かす	<p>浅草寺を中心とした門前町や都市の発展過程の歴史・文化資源の価値を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 世界に誇る歴史・文化を感じる浅草寺一帯 ● 食・芸能・花街の文化をもつ店舗や界隈 ● 落ち着きある佇まいを見せる建物 	<p>下町の風情があるまちなみや周辺地区との繋がりが、人々の往来を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伝法通り等の個性を感じるまちなみ ● 上野、スカイツリー等の周辺とのつながり ● 商店街の連続性を確保する低層部のルールづくり 	<p>こころが躍るくらし・なりわい・ふれあいを生み出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住環境と賑わいを共存させる ● 住み良い住環境や良好な景観を守る建物等のルールづくり ● 活気を感じる三社祭や様々な行事 ● 住民・働く人の居場所を増やす ● 防災時も助け合えるコミュニティ構築 ● 子ども・若者が暮らし続けたいと思う環境を守る ● 若い世代への地域の文化継承や担い手育成が必要 ● 誰もがワクワクする雰囲気高める
新たな魅力をつくる	<p>観光・商売・娯楽により賑わいを高め、巡りたくなる盛り場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光・商売・娯楽が強く結びついた中心部 ● 利便性が高くまちの拠点となる駅づくり ● 駅の乗換え利便性向上 ● 利便性が高くまちの拠点となる、駅とまちが一体のまちづくり ● 広場のような雷門前の滞留空間づくり ● 駅周辺の滞留空間の確保 	<p>隅田川や目抜き通りの回遊・滞留機能を強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 憩い・安らぎを感じる水辺空間づくり ● 水上交通や船着場の利活用の活性化 ● まちから隅田川へのつながりの創出 ● 円滑な乗換え動線づくり ● 雷門通りの広場機能の向上 	<p>新旧の人々が共存し、互いに居心地の良さや交流・活動が生まれるまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東西南北の各方面との連続性や一体感を意識した新たな個性の創出 ● デジタル化等の進歩やコロナ禍を経た新たな変化等に対するまちの機能の充実 ● 首都直下型地震や激甚化・頻発化する水害等のリスクへの対応 ● 観光客の受入れ環境整備 ● まちのルールの作成と新規出店者等への周知 ● 来街者へのまちのルールの周知・啓発 ● 住民・来街者のための災害時の避難所・備蓄等の確保 ● 地域にあった移動手段の導入による回遊促進 ● 新旧住民のつながりを生み出す

縦軸の「魅力」の表現を深度化して、下記のとおり再整理する。

- ・ 魅力を明確にする → 際立たせる
- ・ 魅力ある空間の質や人の心（ホスピタリティ）を向上させる → 磨き上げる
- ・ これらを空間的・精神的につないでいく → 結わえる

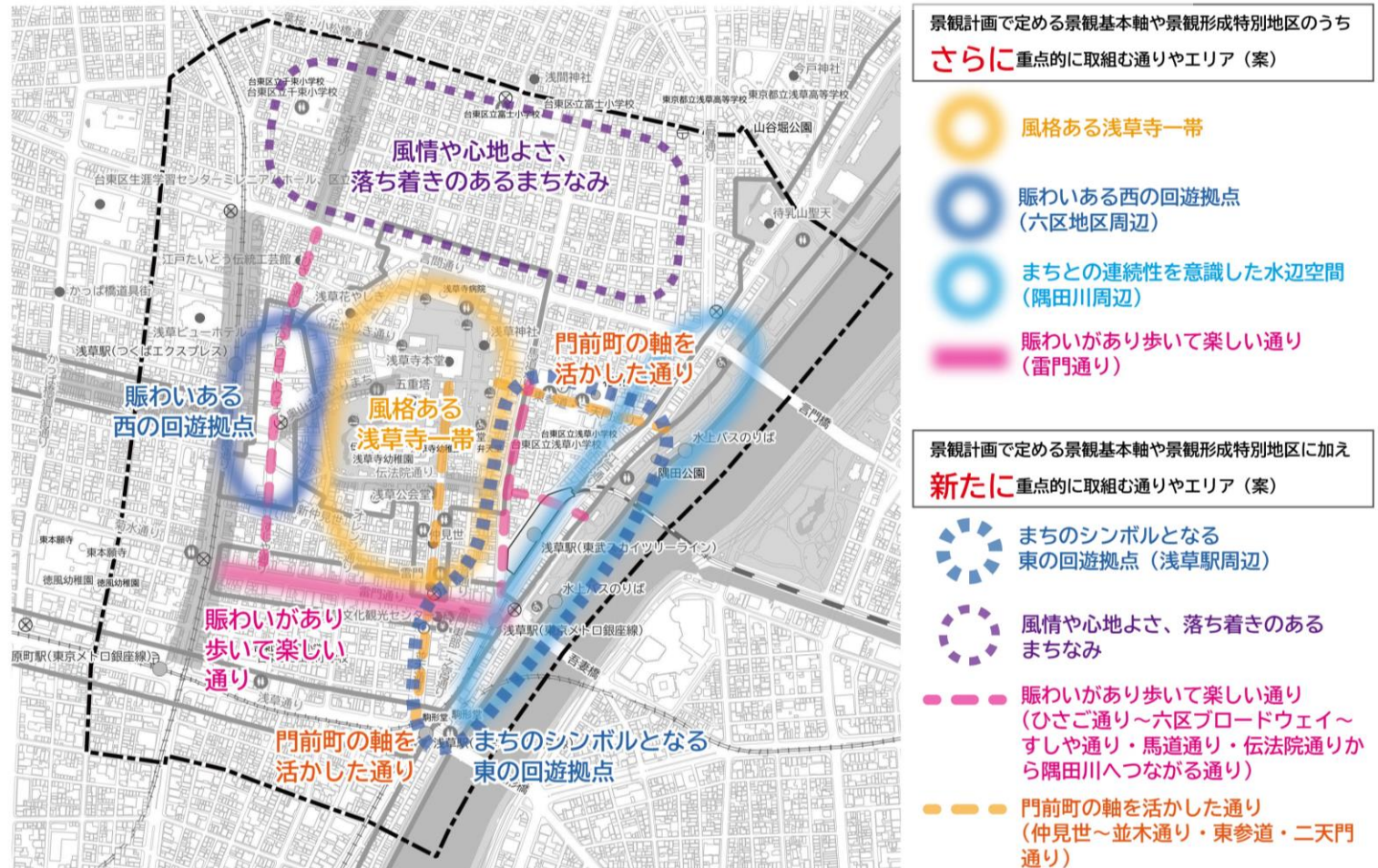
令和5年度の検討の振り返り

2 検討状況（まちづくり部会）

景 観

景観計画で定める景観軸や景観形成特別地区に加え、さらに重点的に景観の取組みを進めていくエリアや通りを下図のようにまとめた。

重点的に取組むエリアの景観イメージ（案）

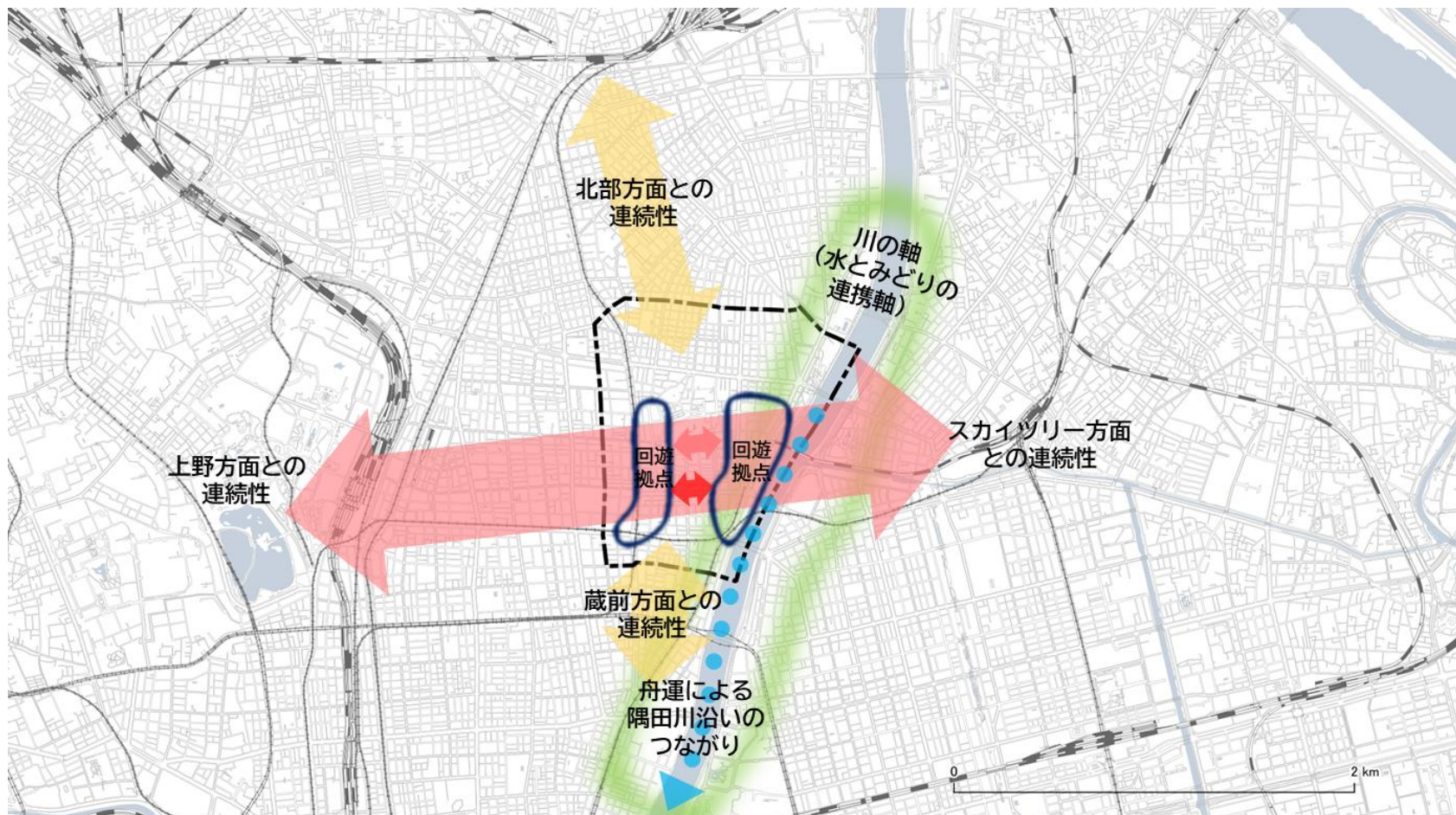


令和5年度の検討の振り返り

3 検討状況（基盤整備部会）

基盤整備の方向性や交通結節点

周辺地域とつながる広がりある浅草の形成に向けて、浅草地区の東と西にまちの拠点を設け、地区内外の回遊の起点とする。

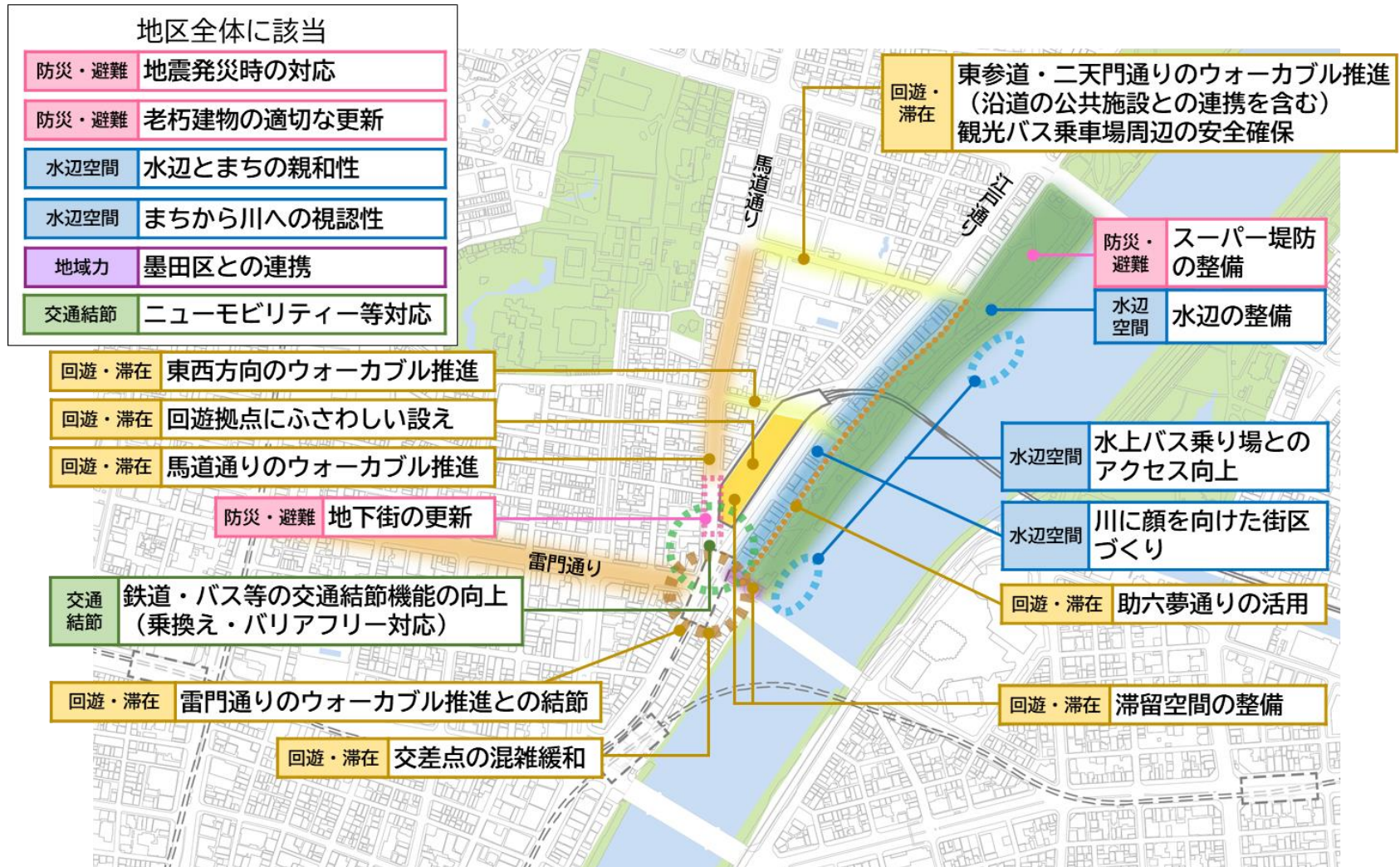


令和5年度の検討の振り返り

3 検討状況（基盤整備部会）

基盤整備の方向性や交通結節点

<東の回遊拠点検討エリアの検討項目>

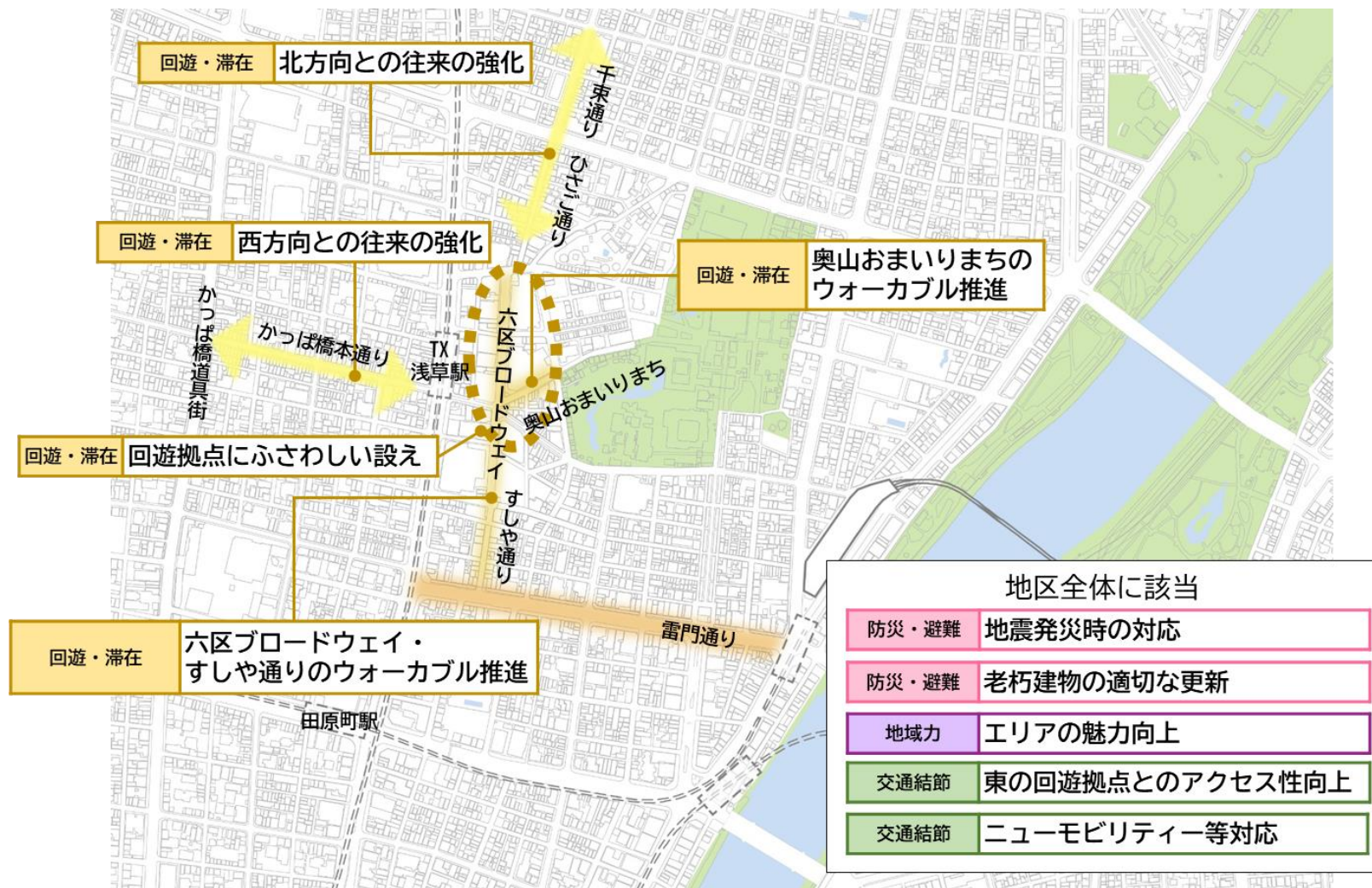


令和5年度の検討の振り返り

3 検討状況（基盤整備部会）

基盤整備の方向性や交通結節点

<西の回遊拠点検討エリアの検討項目>



令和5年度の検討の振り返り

3 検討状況（基盤整備部会）

基盤整備の方向性や交通結節点

<東の回遊拠点 主要な基盤の方向性（まとめ）>



令和5年度の検討の振り返り

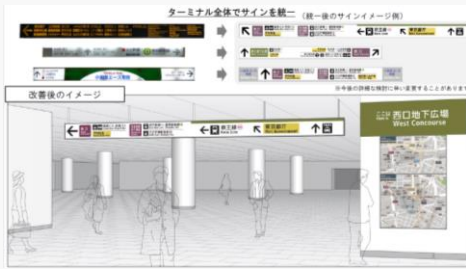
3 検討状況（基盤整備部会）

基盤整備の方向性や交通結節点

<周辺地域との回遊性向上に関する取組み案>

わかりやすい案内サイン

鉄道駅の利用者等へのわかりやすい案内に向けて、乗換ルート上の案内サインやまちなかを含めた案内のあり方について、検討する。



事業者間の連携によるサイン統一（出典：新宿ターミナル基本ルール）

次世代モビリティの効果的な活用

安全性確保のための次世代モビリティのあり方を検討する。

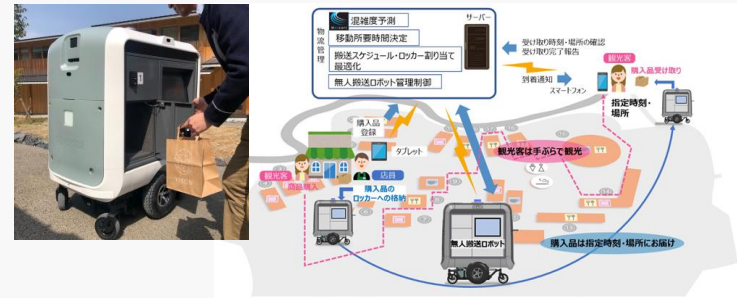


シェアリングサービスを展開しているパーソナルモビリティ（藤沢市、出典：carviewホームページ）

バス停とシェアサイクルポートを近接させ、利活用を促進している事例（出典：回遊性を向上させるモビリティネットワーク（国土交通省））

周辺への回遊促進

最新技術を活用した回遊支援サービスの導入等の検討による、地区内外の回遊性の向上を検討する。



手ぶら観光を支援する無人搬送ロボットの実験例（出典：三菱電機ホームページ）

総合的な交通情報、観光サービス提供

観光サービス提供等による来訪促進、ピーク時の分散や回遊の効率化を図るため、MaaSサービスの導入を検討する。



鉄道、カーシェアリング、低コストバス等のモビリティ利用や、歴史・文化施設などのチケット購入等をWEB上でできる環境配慮型・観光MaaS（出典：東武鉄道ホームページ）

令和5年度の検討の振り返り

4 主なご意見

ビジョンの基本的な考え方

- ・ 大浅草構想と、浅草をいくつかのブロックに分けているが、矛盾していると感じる。浅草寺と雷門の間が混んでいるからといって、隅田川に賑わいを取り戻せば、そちらに行くかという、総体として、ますます人が増えるのではないか
- ・ 他の観光都市と同列に比較しても、浅草は規模も異なる。これまでの観光の計画にある取組みと同じように観光客を増やすという視点で取組みを進めると、大きな間違いが生じるのではないか。適正值があるということ、そろそろ意識する時期ではないか
- ・ 大浅草と言っているが、奥も表も浅草だと皆思っているので、同じ問題意識を持って考えないといけない
- ・ まちの強みを見直し、世間一般の人々に喜んでもらえることも考えた方が良い
- ・ 外国人観光客も中国などアジアからの人が多いが、地元や周りから来る人に愛されるまちにしたい
- ・ 単純に受入れ範囲を広げるという発想ではなく、中央の集中を周囲に広げたり、地区の住民のウォーカビリティの向上等、回遊の質を高めるという考え方が重要である

将来イメージ

- ・ 「義理と人情のまち」といったイメージがありホスピタリティを大事にしている
- ・ 「世界から見た浅草」といった外部の視点を重視することが求められるまちである
- ・ 伝統を守る一方で、社会状況や経済状況の変化に対応して時代の波を受入れてきた懐の深さが浅草らしさなのではないか
- ・ 20年後に向けてすぐやるべきこと、20年後そうなっていれば良いということ整理して、時系列に取組みのあり方を考えていけると良い

令和5年度の検討の振り返り

4 主なご意見

景観

- 地区内には老朽化が進んでいる建物が多く、近い将来建て替わりが進む可能性が高い。シンボルとなる建物の保全や、まちなみや屋外広告物の誘導に関するルールを強化する必要があるのではないかと
- 浅草寺の背後景観については保全の必要性が示されているが、本堂や仲見世の両脇も建替えや景観上目立つ広告物等があり、地域のルールが必要なのではないか
- 伝法院通りの景観協定のように、建替えにあわせた良好な景観づくりの推進に向けて、区も積極的にルールづくりや助成金等の支援をしてほしい

基盤整備の方向性や交通結節点

<回遊性の向上>

- 東西の回遊拠点について、一体のものとして東西の拠点を上手く結んでいきながら、人々のアクセシビリティを高め、商業ポテンシャルを落とさず、地域住民の方も快適に過ごせるまちの姿を考えていくとよい
- 東西方向の回遊性向上のため、TX浅草駅方面も西の回遊拠点としての役割が必要である
- 東西の回遊拠点だけでなく、北側や隅田川の水辺への回遊性も検討してほしい
- 回遊・滞留空間や水辺空間の整備は景観の観点も考慮して推進できると良い
- 来街者の分散について、ハード面だけでなくソフト面も考えなくてはいけない

令和5年度の検討の振り返り

4 主なご意見

基盤整備の方向性や交通結節点

<東の回遊拠点検討エリア>

- **ウォーカブル推進**に向けては、**具体的な取組みを整理**できると良い
- まちから隅田川側への視線の抜けは重要だが、**対岸から浅草側を見た際の景観**にも配慮できると良い
- 水上交通も含めた東の玄関口としては、**吾妻橋・二天門の船着場と隅田川の繋がり**も重要
- 上野から押上のスケールでは、**杜・まち・川が隣接する世界的に見ても貴重な関係性**にあり、これらの連続性を意識できると良い

<交通結節点の強化>

- 浅草は乗換え駅というよりは目的地となる場所であり、**混雑対策や休憩場所の不足**が課題である
- **来訪者の滞留や分散を図れる空間を確保**する考えも必要だろう
- まちには来訪者のキャパシティがあることを意識して**周囲に回遊の分散を図る**ことが重要である。**来訪者の需要をマネジメントする考えが必要**である
- **観光のまちとして、駅の結節機能の強化**を取り組まなければならない
- 都営地下鉄と東京メトロ間の地下での接続に課題を感じている

令和5年度の検討の振り返り

4 主なご意見

基盤整備の方向性や交通結節点

<水辺空間づくり>

- スーパー堤防整備は周辺のまちづくりと連携して進める必要がある。また、災害対策のための滞留空間の創出や墨田区側との一体性も重要である
- 江戸通りの横断機能確保のためにはデッキや地下歩道の整備が必要であり、沿道と一体で進めていく必要がある
- 建物老朽化の改善や水辺との繋がり創出も必要である
- 来訪者にとって水上バス乗り場が見通せるようになるとよい。両国やお台場等への広域的なつながりを周知できると良い

<その他>

- 防災対策のためには、一時的な滞留ができる広場的な空間が不可欠である
- 基盤整備を進めるためには、プロジェクトファイナンスを意識しながら議論を組み立てなければいけない
- 来街者をカバーできるような受入環境が必要である
- 楽しい・面白いというものをもっと創造していくべきである
- 観光だけでなく、商店の変遷など商業の動向も把握すべきである